



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月11日
東

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社 上場取引所
 コード番号 8789 URL <http://www.fgi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 鷲本 晴吾 (TEL) 050-5864-3978
 上席執行役員
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	6,410	23.4	465	—	437	—	319	—
2020年9月期第3四半期	5,196	△22.3	△893	—	△989	—	△1,045	—

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 293百万円(—%) 2020年9月期第3四半期 △1,340百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	1.59	1.59
2020年9月期第3四半期	△5.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	16,920	7,660	38.6
2020年9月期	16,583	7,304	37.7

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 6,539百万円 2020年9月期 6,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	31.6	540	—	370	—	250	—	1.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	201,115,600株	2020年9月期	201,114,600株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	－株	2020年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	201,115,402株	2020年9月期3Q	201,113,629株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、投資銀行事業において、事業承継等のニーズに対応したプライベートエクイティ投資強化の方針のもと、案件の組成を推進しております。エンタテインメント・サービス事業では、ライセンス関連についてはブランディング強化によりムーミンの国内市場は拡大基調で推移したものの、メッツァについては、2021年1月の2回目の緊急事態宣言以降、来園者数は低水準で推移しており、費用を抑制した収支均衡策を継続しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、メッツァが低調であったものの、プライベートエクイティ投資において複数の案件が投資回収に至り、航空機アセットマネジメントも好調に推移した結果、売上高は6,410百万円（前年同期比23.4%増）となり、売上総利益は原価率の低い投資銀行事業の業務受託等の売上が伸長したことにより2,846百万円（前年同期比70.4%増）となりました。販売費及び一般管理費は、前期からメッツァをはじめとして全社的に費用削減を推進してきたことにより前年同期比7.1%減の2,381百万円となった結果、営業利益は465百万円（前年同期は893百万円の損失）、経常利益は437百万円（前年同期は989百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は319百万円（前年同期は1,045百万円の損失）となりました。

（単位：百万円）

	2020年9月期 第3四半期連結累計期間	2021年9月期 第3四半期連結累計期間	増減額
売上高	5,196	6,410	1,214
投資銀行事業	1,901	3,301	1,399
公共コンサルティング事業	170	162	△7
エンタテインメント・サービス事業	3,298	3,171	△127
消去	△173	△224	△50
売上総利益	1,670	2,846	1,176
投資銀行事業	1,045	2,326	1,281
公共コンサルティング事業	93	99	5
エンタテインメント・サービス事業	617	523	△93
消去	△86	△103	△17
営業利益又は営業損失（△） （セグメント利益又は損失（△））	△893	465	1,358
投資銀行事業	△8	1,274	1,283
公共コンサルティング事業	△25	△9	16
エンタテインメント・サービス事業	△414	△330	83
消去又は全社費用	△445	△468	△23
経常利益又は経常損失（△）	△989	437	1,426
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失（△）	△1,278	442	1,721
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,045	319	1,365

セグメント別の業績は以下のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 投資銀行事業

投資銀行事業では、事業承継などに関連する複数の業務を受託し、これらの案件へのプライベートエクイティ投資が回収に至りました。また、航空機アセットマネジメントにおいて、コロナ禍の影響により金融機関や所有者（レッサー）から機体検査や機体返還などの技術サービス提供依頼が増加しました。販売費及び一般管理費については、前期において漸次、人件費を中心に削減を進めたことにより、当第3四半期連結累計期間においても前年同期比で減少しました。

以上の結果、投資銀行事業の売上高は3,301百万円（前年同期比73.6%増）、セグメント利益は1,274百万円

(前年同期は8百万円の損失)となりました。

② 公共コンサルティング事業

公共コンサルティング事業では、公会計事業として地方公共団体に対する統一的な基準による財務書類作成のコンサルティング業務に加え、財務分析レポート作成や公営企業会計導入、経営戦略策定等の受託業務について、大規模自治体を軸に営業活動を推進しました。このような中で、2021年1月に総務省から地方公共団体に対して個別施設計画等を踏まえた公共施設等総合管理計画の見直しを2022年3月までに行うことが求められたことから、見直し支援業務に関しても、積極的に営業活動を推進しました。

また、地方創生事業として市場拡大が見込まれるPPP/PFI手法の導入検討等の受託業務を推進しました。

公共コンサルティング事業の売上高は162百万円(前年同期比4.7%減)、セグメント損失は9百万円(前年同期は25百万円の損失)となりました。

③ エンタテインメント・サービス事業

エンタテインメント・サービス事業では、㈱ムーミン物語のムーミンバレーパークと㈱ライツ・アンド・ブランズのムーミンのライセンス事業を両輪として、ムーミンのブランディングを通じた国内市場拡大によるライセンス収入の拡大を基本戦略として事業を推進しております。

ムーミンバレーパークを含むメッツァでは、㈱ムーミン物語が万全の感染拡大防止策をとったうえで、各種イベントや環境演出の強化などによって集客に努めました。メッツァの来園者数は、第1四半期に前期の第4四半期比で37.2%増の24万人と増加基調になったものの、第2四半期、第3四半期は緊急事態宣言等により低水準で推移して、前第3四半期連結累計期間比で2.8%減の57万人となった結果、メッツァ関連の売上高は前年同期比18.5%減の1,819百万円となりました。

ライセンス関連においては、日本国内におけるムーミンのライセンスを一括管理(翻訳出版権、テーマパーク、舞台芸術を除く)している㈱ライツ・アンド・ブランズが、コロナ禍でもライセンシーの総売上高を増加基調で推移させました。ムーミンのブランド価値向上のためのPR活動や、ライセンシーと協力した様々な企画を投入した結果、コロナ禍での日用品やカジュアルウェアなどの「巣ごもり」需要の取り込みへつながり、ライセンス収入が増加しました。結果として、ライセンス関連の売上高は前年同期比26.9%増の1,351百万円となりました。

以上の結果、エンタテインメント・サービス事業の売上高は3,171百万円(前年同期比3.9%減)となり、利益面については、メッツァにおける費用削減効果により赤字幅は縮小して、330百万円のセグメント損失(前年同期は414百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末より2.0%増加し、16,920百万円となりました。これは主として、営業貸付金が55百万円、ムーミンバレーパークの建物、内外装等の減価償却等により建物及び構築物(純額)が134百万円、投資有価証券が79百万円減少したものの、現金及び預金が609百万円、受取手形及び売掛金が105百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末より0.2%減少し、9,260百万円となりました。これは主として、短期借入金が90百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が165百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が256百万円、固定負債のリース債務が172百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末より4.9%増加し、7,660百万円となりました。これは主として、非支配株主持分が59百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が252百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 実績	2021年9月期 連結業績予想	進捗率
売上高	6,410	9,000	71.2%
営業利益	465	540	86.1%
経常利益	437	370	118.2%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	319	250	127.9%

2021年9月期の連結業績予想と当該予想値に対する当第3四半期連結累計期間の実績の進捗状況は、上記の通りです。利益率が高い投資銀行事業が好調な一方でメツァ関連の業績進捗が遅れているため、連結業績予想に対する進捗は、各段階利益が順調であるものの、売上高は若干遅れています。

今後については、投資銀行事業では、期末に向けてプライベートエクイティ投資案件などの更なる案件組成に取り組んでおり、航空機アセットマネジメントについては引き続き好調を維持する見込みです。しかしながら、メツァについては、2021年7月以降、新型コロナウイルス感染症の感染が急拡大したことにより、メツァがある埼玉県が2021年8月2日から31日まで緊急事態宣言の対象となっており、来園者数は低水準で推移する可能性があります。

2021年9月期の連結業績予想は、現時点では2020年11月10日付の2020年9月期決算短信で公表した予想値を変更いたしません。投資銀行事業の案件組成やメツァの来園者数等の動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

なお、連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,162,069	2,771,965
受取手形及び売掛金	564,724	669,931
営業投資有価証券	1,128,045	1,103,787
営業貸付金	514,798	458,865
販売用不動産	3,999,865	4,009,705
商品	257,591	213,885
その他	272,878	416,040
貸倒引当金	△96,718	△90,519
流動資産合計	8,803,255	9,553,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,372,766	5,384,599
減価償却累計額	△327,629	△474,350
建物及び構築物（純額）	5,045,136	4,910,249
その他	1,660,769	1,454,166
有形固定資産合計	6,705,906	6,364,415
無形固定資産		
のれん	137,969	132,597
その他	462,787	492,348
無形固定資産合計	600,756	624,945
投資その他の資産		
投資有価証券	145,711	66,490
長期貸付金	41,668	35,419
繰延税金資産	9,033	5,228
その他	277,438	270,665
貸倒引当金	△220	△74
投資その他の資産合計	473,630	377,729
固定資産合計	7,780,293	7,367,091
資産合計	16,583,548	16,920,753

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,597	138,356
短期借入金	69,701	160,000
1年内返済予定の長期借入金	615,111	358,644
未払法人税等	97,250	147,748
リース債務	222,578	228,407
賞与引当金	130,666	127,093
その他	1,088,523	1,377,731
流動負債合計	2,333,428	2,537,982
固定負債		
長期借入金	6,125,744	6,089,110
リース債務	581,872	409,830
繰延税金負債	96,324	73,173
退職給付に係る負債	108,259	115,992
その他	33,536	34,095
固定負債合計	6,945,738	6,722,202
負債合計	9,279,166	9,260,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462,062	6,462,099
資本剰余金	5,016,132	5,016,130
利益剰余金	△5,183,778	△4,931,037
株主資本合計	6,294,416	6,547,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,380	4,971
為替換算調整勘定	△32,833	△12,331
その他の包括利益累計額合計	△36,213	△7,359
新株予約権	64,045	79,016
非支配株主持分	982,133	1,041,720
純資産合計	7,304,381	7,660,568
負債純資産合計	16,583,548	16,920,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,196,677	6,410,861
売上原価	3,526,593	3,564,453
売上総利益	1,670,084	2,846,408
販売費及び一般管理費	2,563,881	2,381,261
営業利益又は営業損失(△)	△893,796	465,146
営業外収益		
受取利息	770	604
持分法による投資利益	—	6,978
助成金収入	21,508	54,025
その他	2,171	6,787
営業外収益合計	24,449	68,395
営業外費用		
支払利息	102,742	92,113
持分法による投資損失	15,279	—
その他	1,864	4,261
営業外費用合計	119,886	96,375
経常利益又は経常損失(△)	△989,233	437,166
特別利益		
固定資産売却益	1,185	—
関係会社株式売却益	—	3,151
新株予約権戻入益	4,486	3,666
特別利益合計	5,672	6,817
特別損失		
固定資産除却損	899	801
出資金評価損	2,140	—
臨時休園による損失	292,322	—
関係会社株式評価損	—	320
その他	24	—
特別損失合計	295,386	1,122
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,278,947	442,862
法人税、住民税及び事業税	67,857	211,373
法人税等調整額	△21,103	△19,823
法人税等合計	46,753	191,549
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,325,701	251,312
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△279,977	△68,522
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,045,723	319,835

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,325,701	251,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,641	8,351
為替換算調整勘定	△11,254	34,165
その他の包括利益合計	△14,895	42,517
四半期包括利益	△1,340,596	293,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,056,873	348,689
非支配株主に係る四半期包括利益	△283,722	△54,859

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する前提について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・サー ビス事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	1,754,409	161,131	3,281,136	5,196,677	—	5,196,677
セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注) 3	147,563	9,000	17,144	173,708	△173,708	—
計	1,901,972	170,131	3,298,281	5,370,385	△173,708	5,196,677
セグメント損失(△)	△8,399	△25,936	△414,192	△448,528	△445,268	△893,796

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△445,268千円には、セグメント間取引消去174,312千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△619,581千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

3 「投資銀行事業」におけるセグメント間の内部売上高又は振替高には、「投資銀行事業」に属する当社が「エンタテインメント・サービス事業」に属する連結子会社である㈱ムーミン物語に賃貸するメッツァビレッジの賃料収入117,211千円が含まれております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年10月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・サー ビス事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,145,911	151,657	3,113,292	6,410,861	—	6,410,861
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	155,934	10,500	57,851	224,285	△224,285	—
計	3,301,846	162,157	3,171,143	6,635,147	△224,285	6,410,861
セグメント利益 又は損失 (△)	1,274,636	△9,786	△330,943	933,906	△468,760	465,146

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△468,760千円には、セグメント間取引消去165,214千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△633,974千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。